

進路部会	
部会設置の 目的	障害のある高校生が学校卒業から社会人として安心して地域の中で生活し働いていくために、進路に関わる機関（学校・事業所等）が集まり、移行支援に関わる課題等について意見交換を行なう
今年度の 開催状況	＊幹事会…①6/7、②7/16、③7/30、④9/20、⑤12/18、⑥1/10、⑦2/5 ＊部会 …第1回：8/8、第2回：1/23
今年度の 課題認識・ 取組の意図	①学校期から成人期への移行支援（進路支援）において家族との関わり、家族への支援も欠かせない 特に、本人の希望と保護者の希望のすり合わせや、本人理解のすり合わせなどに悩むことが多い ②学校期から成人期への移行支援（進路支援）は「意思決定支援」である 特に、意思決定ための「土台づくり」＝意志形成・意思表出・意志実現・信頼関係・環境が重要
今年度の 取組内容	課題認識① 学校期から成人期への移行支援において家族との関わり、家族への支援も欠かせない ☞どんな取組をした？ ✓第1回部会「送り出すとき、受け入れてから、ご家族とのかかわり・支援」を開催（8/8） ・57名参加 ・学校の実習ルール「紳士協定」や進路状況について説明 ・話題提供：「体験から自己選択へ」（神奈川県立みどり支援学校新栄分教室） 「卒後安定しているからこそ家族の変化を見据えたつながりを」（つづき地域活動ホームくさぐさ） 「『就職したら支援はいらない』定着支援まさかの拒否?!」（ピアジョブサポートセンター北） ・グループワーク：ご本人を支えるためのご家族との関わり・支援について …保護者に対しても卒後の相談先や福祉サービスについて理解を深める取り組みが必要 保護者に本人の強みを理解してもらう働きかけが必要 学校期から相談先につなげる取り組みが必要 ※これらは高校よりも前から取り組む必要がある
	課題認識② 学校期から成人期への移行支援（進路支援）は「意思決定支援」である ☞どんな取組をした？ ✓第2回部会「ご本人らしい『意思決定』のために私たちができること」を開催（1/23） ・74名参加 ・学校の実習ルール「紳士協定」や受入れ状況について説明 ・話題提供：「体験の視点から」（神奈川県立みどり支援学校新栄分教室） 「ICFと合理的配慮・自己理解の視点から」（ピアジョブサポートセンター北） 「本人理解の視点から～利用者と職員の『いいところ』ポスター」（プリムラ496） ・グループワーク：本人らしい意思決定の土台づくりとは？ ・「意思形成」「意思表明」「意思実現」それぞれの段階で取り組めること ・これらを“歯車”としてかみ合わせるために取り組めること ・学校と事業所で必要な連携とは …本人らしい意思決定の「土台づくり」において大事にすべきことが見えてきた ◎本人理解、特に「いいところ」（ストレングス）を知ること ◎本人や家族と信頼関係を築くこと ◎意図をもった体験と、体験を本人と一緒に丁寧に振り返ること

今年度の 成果と課題	成果	○『学校と事業所の基礎情報』令和 6 年度版をまとめた ○学校の実習ルール「紳士協定」について学校と事業所が共通理解をする場を設けた ○各学校・事業所での家族支援に向けた現状や共有課題を知ることができた ○意思決定支援について、学校・事業所の枠を超え、それぞれの思いや具体的な支援方法など意見交換できた
	地域課題	●重度（重心を含む）の方の進路先が少ない ●学校・事業所ともに、家族との関係構築の難しさについて共感する意見が目立った ●本人の困り感が希薄で支援等の必要性を感じていない場合は相談窓口とつながることが難しい ●卒業後、ゆるやかにつながれるような居場所が少ない、また探しにくい ●コロナ禍以降、コミュニケーションの経験が少ない生徒が増加傾向にあり、失敗に対する耐性が弱くなっている生徒が増加しており、今後対応困難な事例が増えることが予想される ●意思決定支援（日々の生活、幼少期からの意思決定、卒後の進路先、転職、生活する場等）
	部会運営 の課題	●卒後におこる課題は、幼少期の段階から継続している 小中学校の教員等に部会参加していただくことも検討事項にあがったが、昨今の働き方改革や 17 時以降の会議にご参加いただくことが現実的に困難 ●部会の方向性も含め、今後どのような立場の方に参加していただくか等、検討が必要
他の部会に 聞きたい事／ 共通課題	●家族との関わり、家族支援 ●困り感を抱かない本人への支援の手法・仕組みが必要 ●福祉サービスに馴染まない方（軽度、一般級・校等）への支援の手法・仕組みが必要 ●意思決定支援 ●インフォーマルな居場所づくり、つながりづくり	
今後の取組	☆今後、支援学校等の卒業生が増加する状況において、学校と事業所の必要な連携を考える ☆卒業後、地域の中で本人にとって安心できる居場所等、情報提供	